

# 宇治市要保護児童対策地域協議会 平成 28 年度第 2 回代表者会議 議事要旨

< 日 時 > 平成 29 年 3 月 3 日 ( 金 ) 10 : 00 ~ 12 : 00

< 場 所 > 宇治市役所 8 階 大会議室

< 出席者 > ( 委員 : 22 人出席 / 27 人中 )

中田会長、星川副会長、池田委員、奥西委員、原委員、門脇委員、池本委員、久世谷委員、弓指委員、東堂委員、竹下委員、篠原委員、山本委員、下山委員、中村委員、大西委員、迫委員、木村委員、大槻委員、鎌田委員、富治林委員、高田委員

( 事務局 )

福祉子ども部 北尾子ども福祉課長、山本子ども福祉課主幹、  
湯浅子ども福祉課主幹、三品子ども福祉課子育て企画係長

( 傍聴者 ) 0 人

## < 会議内容 >

### 1 開会

- ・「宇治市要保護児童対策地域協議会の会議の公開に関する要項」に基づいて、公開で会議を進めていくことを確認。
- ・欠席委員報告
- ・配布資料確認

### 2 議題

1 ) 宇治市の取組状況について

2 ) 京都府の取組状況について

- ・事務局より、資料 1「宇治市報告資料」に基づき、説明が行われた。
- ・京都府宇治児童相談所、京都府山城北保健所より、資料 2「京都府報告資料」に基づき、説明が行われた。

【質疑なし】

3 ) 意見交換「子どもに対する支援」「保護者に対する支援」

3 つのグループに分かれて、テーマに沿って、意見交換が行われた。

【意見交換の概要】

○グループ A

地域のネットワークが希薄になり、顔の見えない関係が一般化してきているため、地域での見守りが難しくなっているのではないかと。

妊娠期からの切れ目ない支援が機能するよう、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校、中学校、そして地域の情報を集約できる体制をつくっていく必要があるのではないか。

#### グループB

地域の見守りが難しくなっている中で、児童虐待の通告が、子育て家庭への支援につなげていくためにはどうすべきか検討が必要ではないか。

虐待を受けている児童等について、個人情報の保護や守秘義務における課題はあるが、市に集約されている情報を見守りを行っている関係団体等へどのようにフィードバックしていくか検討が必要ではないか。

#### グループC

保護者同士がつながって、良い関係が築けていれば、児童虐待は起きにくくなるのではないか。

児童虐待と家庭の経済的な問題、貧困の問題はつながりがあると考えられるが、地域のつながり、地域づくりと合わせて、どのように取り組んでいくか検討が必要ではないか。

### 3 その他

- ・事務局より、児童福祉法等の一部を改正する法律の概要について説明が行われた。
- ・事務連絡

### 4 閉会